介護施設のみんなで防ごう！

インフルエンザ

手洗い・マスクで感染を防ぎましょう！

石けんで30秒以上しっかり手を洗いましょう！

マスクを正しく着用しましょう！
鼻と口をしっかり覆いすき間をつくらない！

咳エチケットも忘れずに！



ウイルスは目・のど等の粘膜から体内に入り、約20分で感染します！



インフルエンザの感染経路

飛沫感染



咳やくしゃみのしぶきを吸い込む

接触感染



ウイルスがついたものを触り、口や目から感染

インフルエンザの予防のポイント



予防接種
（効果が出るまで約２週間）



手洗い
（30秒以上）



マスクの着用
（咳エチケット）



アルコール消毒
（手指・環境）



適度な湿度の保持
（50～60%）



十分な休養とバランスのとれた食事



人混みや繁華街への外出を控える



正しい知識とみんなの協力で
インフルエンザの流行を防ぎましょう！



安心・安全な施設づくり

ノロウイルス対策

正しい汚物処理で感染拡大を防ぎましょう！

感染防止用具を必ず着用！



ノロウイルスは
少量（10〜100個）でも
感染する
感染力が非常に強い！

作業中は
最小限の人数で対応
周囲の人は近づかない

汚物処理の手順

1 汚物を覆う



ペーパータオルや
使い捨ての布で、汚物を
外側から内側に向けて
覆う（飛び散りを防ぐ）

2 静かに回収



ペーパータオルなどで
静かに回収する
（こすらない）

3 消毒する



汚物を取り除いた後、
周囲も含めて広範囲を
次亜塩素酸ナトリウム液
（0.1%）で消毒する

4 拭き取り



10分程度置いた後、
ペーパータオルで
拭き取る
（外側から内側へ）

5 廃棄する



汚物・使用した
ペーパータオル・
手袋・ガウンなどは
ビニール袋に密封して
廃棄する

6 しっかり手洗い



作業後は石けんと
流水で十分に
手を洗う
（アルコール消毒
だけでは不十分）

処理後の注意

- ☑ 使用した用具はすべて使い捨てにする
- ☑ 処理した場所や周囲を広く消毒する
- ☑ 衣服が汚染した場合は、すぐに着替える
- ☑ 体調に変化があれば、早めに報告・受診する



〈作り方の例〉
市販の次亜塩素酸ナトリウム
（濃度5%）を
水で50倍に薄める
（ペットボトルのキャップ
約2杯を水1Lに入れる）

ポイント

- ☑ 感染防止用具を正しく着用
- ☑ 汚物は広範囲に清浄・消毒
- ☑ 換気を十分に行う
- ☑ 処理後は必ず手洗い
- ☑ 施設のマニュアルに従う

ノロウイルスの感染拡大を防ぎ、利用者・職員の健康を守りましょう！

新型コロナウイルス対策

換気とゾーニングで感染を防ぎましょう

利用者の安全・
安心な生活のために
私たちにできること



感染拡大を防ぐポイント

- ☑ こまめな換気を行う
- ☑ 感染者と非感染者の部屋を分ける（ゾーニングを実施）
- ☑ 感染者の対応は限られた人にする
- ☑ マスク・手洗い・消毒を徹底する
- ☑ 共用部分の消毒を行う
- ☑ ごみは密封して捨てる
- ☑ 体調の変化を早期に発見する

みんなで守る いのちと暮らし

正しい知識と正しい行動で、感染のない安心な施設をつくりましょう

疥癬（かいせん）の予防
～ うつさない・ひろげない ～

- ヒゼンダニが皮膚に寄生して起こる感染症です
- 主な症状は、強いかゆみと赤い湿疹です
- 主な感染経路は 接触感染 です



ヒゼンダニ
（イメージ）



主な症状

- 強いかゆみ
- 赤い湿疹
- 手指の間・手首・腋の下・腹部・大腿などに多い

感染経路は接触感染



肌と肌の直接接触
（介助時など）



寝具・衣類の共有
などによる感染

その他の感染対策



寝具・衣類は
こまめに交換・洗濯
（高温での洗濯が有効）



環境の清掃・消毒
（ドアノブ・手すり
などよく触れる場所）



タオル・衣類・
コップなどは
共用しない

利用者さんを守るために

- ☑ 皮膚の状態を観察し、早期発見につなげる
- ☑ 正しい知識と標準予防策を徹底する
- ☑ 職員間で情報を共有し、施設全体で予防に取り組む



手袋の着用ポイント

1. 介助の前に手袋を着用する
2. 使用後は外側に触れずにはずし、すぐに捨てる
3. 手袋を外した後は必ず手洗い・手指消毒を行う

